

みずほCustomer Desk Report 2018/05/11号(As of 2018/05/10)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	109.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.85	1.1847	130.13	1.3546	0.7457
SYD-NY High	110.02	1.1947	130.76	1.3618	0.7540
SYD-NY Low	109.30	1.1844	130.03	1.3460	0.7452
NY 5:00 PM	109.39	1.1916	130.38	1.3514	0.7534
NY DOW	24,739.53	196.99	日本2年債	-0.1400	▲1.00bp
NASDAQ	7,404.98	65.07	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,723.07	25.28	米国2年債	2.5323	0.02bp
日経平均	22,497.18	88.30	米国5年債	2.8288	▲1.19bp
TOPIX	1,777.62	4.71	米国10年債	2.9631	▲4.21bp
ソコ日経先物	22,520	20.00	独10年債	0.5555	▲0.35bp
ロンドンFT	7,700.97	38.45	英10年債	1.4285	▲2.90bp
DAX	13,022.87	79.81	豪10年債	2.7695	▲1.60bp
ハンセン指数	30,809.22	273.08	USDJPY 1M Vol	6.70	▲0.15%
上海総合	3,174.41	15.26	USDJPY 3M Vol	7.43	▲0.03%
NY金	1,322.30	9.30	USDJPY 6M Vol	7.84	▲0.10%
WTI	71.36	0.22	USDJPY 1M 25RR	-0.50	Yen Call Over
CRB指数	204.52	0.82	EURJPY 3M Vol	7.69	▲0.04%
ドルインデックス	92.65	▲0.39	EURJPY 6M Vol	8.05	▲0.06%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月10日	08:50	日 経常収支	3月 ¥3,122.3B	¥2,899.0B
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	3月 0.1%/2.9%	0.2%/3.1%
	20:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.500%
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.5%	0.3%/2.5%
	21:30	米 コアCPI(前月比/前年比)	4月 0.1%/2.1%	0.2%/2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	211k 219k

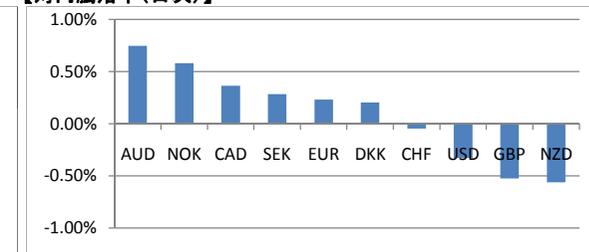
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月11日	21:30	米 輸入物価(前月比)	4月 0.5%	0.0%
	21:30	米 ブラド・セントルイス連銀総裁講演	-	-
	22:15	欧 ドラギ・ECB総裁講演	-	-
5月12日	00:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数	5月 98.3	98.8

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-109.70	1.1880-1.1980	129.00-130.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場は欧州株堅調スタートの展開にドル円は110円台乗せへ上昇も上値では売り意欲も強く、発表された米CPIも市場予想を下回る数字となったことで109円半ば割れへ下落。その後は米株が前日比プラス幅を拡大する動きにドル円は109円半ば近辺でのクローズとなった。本日は週末を控え海外勢を中心に週初からのドル買いポジションの調整が入る可能性が高く、上値重い展開を予想する。

東京	アジア時間早朝からドル堅調合いとなるなか、事前予想を上回った本邦経常黒字や「金融政策決定会合における主な意見」(4月開催分)に対する反応は限定的で、東京時間のドル円は109.85レベルでスタート後、仲値にかけてドル買いの勢いが加速し109.93まで上昇。その後、米金利が低下基調のなかドルが全般に反落、ドル円は109.64まで下落したが、底堅い株式市場にサポートされる形で再び値を上げ、109.81レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は109.81レベルでオープンするとアジア時間から引き続き110円を試し展開。一時110.02まで上昇するがすぐに売られ109.65レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1886レベルでオープンすると緩やかに上昇。英中銀の政策金利決定の前のポジション調整からユーロが買い戻され1.1890まで堅調に推移、1.1884レベルでNYに渡った。ポンドドルは下落、1.3569レベルで始まり、朝方の英3月鉱工業生産が予想を下回ると売られるが、英中銀の会合を前のポジション調整から程なく切り返し、一時は1.3618まで買われる。しかし正午に金融政策維持となり成長率とインフレ見通しが引き下げられると大きく値を下げ1.3490まで下落。1.3533レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は、ドル買いが優勢となり一時110.02まで戻すものの、今月2日に付けた110.05を抜けられず、その後は米CPI結果発表を前に、調整のドル売りが優勢となり109.65レベルでNYオープン。注目の米4月CPIはエネルギー価格上昇を背景に、前回から上昇するものの、ヘッドライン、コア共に予想を下回り、ドル売りが持ち込まれたことから、ドル円は109.30まで下落する。その後は米朝首脳会談が来月12日にシンガポールで開催とのヘッドラインを受け、再びドルが買い戻され109.65まで戻すものの、弱いCPI結果が意識されドル売りが優勢となり、109.32まで反落する。午後は狭いレンジでの推移が続き、109.39レベルでクローズした。一方、海外市場でドルの調整売りからじり高で推移したユーロドルは、1.1884レベルでNYオープン。朝方はCPI結果を受けたドル売りに、ユーロドルはショートカバーが強まり、1.1947まで戻す。しかし短期筋のユーロ円の戻り売りにユーロドルは連れ安となり、1.1876まで反落する。午後は米CPI結果を背景にしたドル売りが再び強まったことから、ユーロドルは再び1.1934まで戻し、1.1916レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:山下・坂本